

平成22年

地盤沈下調査結果

平成23年8月



はじめに

この報告書は、愛知県、国土交通省、名古屋市及び名古屋港管理組合が平成 22 年に実施した水準測量、地下水位観測等の調査結果をもとに、愛知県内の地盤沈下の状況についてとりまとめたものです。

水準測量については、尾張・名古屋市地域及び東三河地域において実施しましたが、いずれの地域においても 1 年間又は 1 年当たりで 1 cm 以上沈下した水準点はなく、沈下域は生じませんでした。

県内の地盤沈下は、全般的に見て、地下水揚水量の減少に伴う地下水位の上昇により概ね沈静化の傾向にあります。

渇水時には、雨水等の地下への涵養量が減少するとともに揚水量が増加し、地下水位が急激に低下することにより、広範囲な地盤沈下が生じる可能性が依然としてあります。地盤沈下が発生すると、水害等の潜在的な危険度が高まることから、引き続き地盤沈下・地下水位の監視、地下水の揚水規制等を実施し、地盤沈下の防止に努めていきます。

平成 23 年 8 月

愛知県環境部

目 次

1	水準測量による地盤沈下調査結果の概要	1
	(1) 地盤沈下調査結果の概要	1
	(2) 地域別の地盤沈下調査結果の状況	2
	ア 尾張・名古屋市地域	2
	イ 東三河地域	7
2	地下水位調査結果の概要	8
3	地下水揚水量の状況	21
4	調査結果のまとめ	23
5	資料	24
	資料－1 水準測量観測路線図	25
	資料－2 平成 22 年市町村別水準点変動状況	27
	資料－3 地盤沈下観測所の設置状況及び設備概要	29
	資料－4 平成 22 年地下水位・地盤収縮量変動状況	33
	資料－5 平成 22 年度地下水揚水量の内訳並びに 事業所数及び井戸（揚水設備）数	37
	資料－6 平成 22 年降水量の状況	39
	資料－7 西三河及び知多地域の地盤沈下調査結果	40
	資料－8 地盤沈下対策	46